

平成21年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社 梅 の 花
 代 表 者 名 代表取締役社長 梅 野 重 俊
 (コード番号 7604 東証第二部)
 問 合 せ 先 取締役経理部長兼海外事業部長
 上 村 正 幸
 T E L 0942-38-3440

平成21年9月期業績予想の修正及び特別損失の計上について

最近の業績動向等を踏まえ、平成21年5月7日に発表いたしました平成21年9月期（平成20年10月1日～平成21年9月30日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想

(1) 連結予想 (平成20年10月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A) (平成21年5月7日発表)	百万円 28,035	百万円 396	百万円 175	百万円 188	円 銭 3,272.37
今回予想 (B)	28,327	239	△171	△211	△3,670.12
増 減 (B-A)	291	△157	△347	△400	—
増 減 率 (%)	1.0	△39.7	—	—	—
前期実績(平成20年9月期)	28,522	49	△335	△2,057	△35,657.44

(2) 個別予想 (平成20年10月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A) (平成21年5月7日発表)	百万円 11,381	百万円 107	百万円 87	百万円 307	円 銭 5,324.32
今回予想 (B)	11,308	91	58	164	2,853.16
増 減 (B-A)	△73	△16	△29	△142	—
増 減 率 (%)	△0.6	△15.7	△33.2	△46.4	—
前期実績(平成20年9月期)	6,942	96	69	△1,201	△20,814.58

2. 修正理由について

(1) 予想修正理由 (平成20年10月1日～平成21年9月30日)

連結予想につきまして、売上高は計画を若干上回る見込みであります。営業利益、経常利益及び当期純利益はサービス向上を目的とした人件費の投入、為替変動による金融商品評価損237百万円等の増加により減少する見込みであります。

個別予想につきまして、売上高は計画を若干下回る見込みであります。営業利益、経常利益は売上の減少に伴い計画を下回る見込みであります。当期純利益は、梅の花和歌山店の閉鎖に伴う固定資産除却損57百万円の発生、法人税等調整額の見込み違い等により減少する見込みであります。

(2) 特別損失 (平成20年10月1日～平成21年9月30日)

特別損失につきまして、店舗閉鎖に伴う固定資産除却損81百万円、投資有価証券評価損34百万円等により137百万円が発生する見込みであります。

注) 上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上